

2026年3月吉日

お客様各位



一部商品の価格改定に関するお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、昨今の原材料価格高騰の影響により、弊社製品に使用しております銀およびタングステン（タングステン）の価格が、過去に例を見ない水準まで上昇しております。

加えて、副資材費、物流費、設備維持費の上昇や為替市場の急激な変動など、製造原価を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

弊社といたしましては、生産効率の向上やコスト削減などの自助努力を継続してまいりましたが、企業努力のみで吸収することが困難な状況に至っております。

つきましては、誠に心苦しい限りではございますが、

下記のとおり価格改定を実施させていただきたくお願い申し上げます。

記

【対象商品】 下記区分の一部商品

チップソー・ダイヤモンドカッター・研削/研磨用品・切断砥石・ステップドリル等

※全商品一律の改定ではなく、原材料影響の大きい商品に限り見直しを行っております。

【改定率】 5%～15%アップ

※商品ごとに改定率が異なりますので詳細は別途価格表にてご案内いたします。

【改定実施時期】 2026年6月1日(月) 受注分より

※なお、急激なご注文増加が生じた場合には、出荷調整をお願いする場合がございます。

何卒諸事情をご賢察のうえ、今後とも弊社商品へのご愛顧を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

【お問い合わせ】 本件に関するお問合せは、弊社営業所または営業担当までお願いいたします。

本社 ☎ : 072-227-8420	東京営業所 ☎ : 03-3628-5581	大阪営業所 ☎ : 072-227-8420
北海道営業所 ☎ : 011-876-0144	神奈川営業所 ☎ : 046-292-7720	広島営業所 ☎ : 082-292-5083
東北営業所 ☎ : 022-762-8755	名古屋営業所 ☎ : 052-503-8214	福岡営業所 ☎ : 092-452-5538

原材料価格高騰に関するご説明資料（価格改定の背景）

昨今の原材料価格の高騰により、当社製品に使用する銀およびタングステンの価格が大幅に上昇しております。

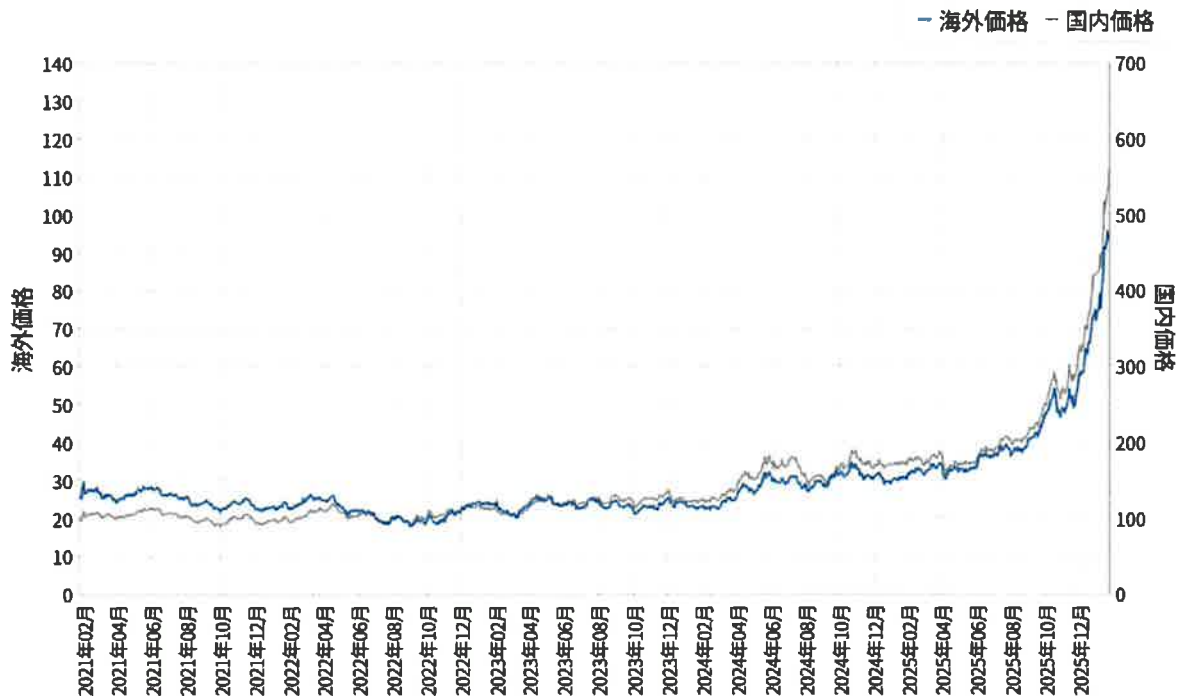
弊社ではこれまで、生産効率の向上やコスト削減に努め、可能な限り価格維持に取り組んでまいりましたが、自助努力のみでは吸収が難しい状況となっております。

誠に恐縮ではございますが、価格改定へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. 銀価格の推移について

銀価格は、太陽光パネル等の産業需要拡大や、インフレヘッジを目的とした投資需要の高まりを背景に、2025年以降急激に上昇し、2026年初頭には45年ぶりの高値圏で推移しております。

銀価格2021-2026 海外価格 (US\$/toz) / 国内価格 (¥/g)



2. タングステン価格の推移について

タングstenは主要生産国である中国の供給規制を背景に、世界的な供給ひっ迫が続いております。特に APT 価格は 2025 年初頭と比較し 200%超の上昇となっており、2026 年も高値圏で推移する見通しです。



3. 価格改定のご願いについて

今後も安定した品質および供給を継続するため、誠に不本意ではございますが、本価格改定へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本価格改定は原材料価格の高騰への対応を目的としたものであり、利益拡大を目的としたものではございません。

想定反論 Q&A (営業用)

Q1.

「原材料が上がっているのは分かるが、そこまで値上げする必要はありますか？」

A.

ご理解ありがとうございます。

当社でもこれまで、生産効率改善やコスト吸収により価格維持を続けてきました。

しかし今回の銀・タングステン価格は、**過去に例のない上昇幅**となっており、

自助努力だけでは吸収が難しい水準に達しています。

今回の価格改定は、

利益拡大ではなく、品質と安定供給を維持するために最低限必要な対応です。

Q2.

「一時的な高騰では？ 少し様子を見ることはできませんか？」

A.

その点も慎重に検討しました。

ただし、今回の価格上昇は一時的な要因ではなく、

- 太陽光パネル等による**構造的な需要増**
- 中国の供給規制による**供給制約**
- 地政学リスクを背景とした**高値圏の定着**

といった複数要因が重なっています。

専門機関の見通しでも、**2026年以降も高水準が続く**とされています。

そのため、現時点での対応が必要と判断しました。

Q3.

「なぜ全商品一律ではなく、商品ごとに違うのですか？」

A.

ユーザー様への影響を最小限に抑えるためです。

市場での影響が大きい主力商品については慎重に判断し、
影響の低い商品・原材料比率の高い商品を中心に改定しています。

一律改定ではなく、
できるだけご負担を抑える形で商品ごとに精査した結果です。